

毎日解く

これを読んでいる皆さんは多少なりとも不安や葛藤を抱え、進路の可能性を模索していたり勉強方法のヒントを探していたりしているのではないかと思います。結論から言えば、今の段階で手がかりを見つけようと悩んでいる皆さんなら自分にあった解決策を見つけることができると思います。時間をかけて自分で自らの課題に向き合い自分なりの答えを得ることができれば道は開けます。できるだけ早い時期に悩み始め、悩み抜いた後

に最終学年を迎えることができれば最適だと思います。

私は4年春から手探りの独学を始めました。差当り学校配布の問題集を解き始めましたが、模試成績には思うような効果には現れず、やはり独学での成績向上は難しいのかなあと半ば諦めながら先生方に勉強方法を尋ねると、「毎日解き続けること」とアドバイスを下さいました。あまりに単純であまりに呆気ない助言でしたが、他の術を知らない私はとりあえず毎日問題集を解き続けました。具体的には、毎日数学の問題(4step やチャート式)を解く、毎日登下校中に少して

も単語帳(英語や古文)に目を通す、毎日 NHK 英語講座を聞く、という取り組みをしました。それを半年ほど継続すると、少しずつ成長している感覚が得られるようになりました。3年後のいま、実体験を元に確実に言えることは、毎日の積み重ねは本当に大きな力になるということです。私もみなさんにこのアドバイスを繰り返します。

また、自分の得意・苦手の両方にきちんと向き合うことが大切です。自己分析と言うほどの仰々しいことではなく、”自信を持って解ける単元/わかったつもりでも案外納得できていない単元”、”問題を解

いていて楽しい教科/つい後回しにしがちな教科”を自覚するだけで十分です。これらを模試成績の良し悪しから把握するのではなく、日々の勉強の中で体感的に認識できると良いと思います。(不得意分野だけでなく得意分野も自覚することを心がけてください。不得意分野だけを自覚すると心が折れそうになるので、自信を持てる自分の強みを見つけて勉強の活力になると良いと思います。)

その上で、得意分野をどれくらい極めるのか(試験の得点源にする程度なのか、将来の進路に繋げるのか)、苦手分野をどのように処理

するのか(苦手克服のために毎日の努力を積み重ねるのか、諦めて他の教科を自分の強みにするのか)を決めて、漠然とした目標を決めた後にそのための努力を実行します。

私の場合を例にあげると、数学の成績が不振→3年で塾に通う(結果に繋がらず退塾)→苦手克服を目標として、4年春から毎日4step→4年冬から毎日チャート式→5年冬には数学が得点源になる! →受験での自信科目にする

塾に行くことは決して無意味だとは思いますが、塾に行く時間が増えると自分と向き合う時間や毎

日の積み重ねを実行する時間が失われることは念頭に置いておくべきです。特に苦手科目は人から教わって克服することは難しく、自分で地道に勉強をする方が確実に力となり効果的でした。そのため、何から手をつけたら良いのかわからず漠然と成績をあげるために通塾しようと考えているのであれば、得意科目を伸ばすための通塾を基本として、苦手科目はまずは自分で格闘してみることをオススメします。中には私のように通塾が最善の方法ではない人もいないかと思います。今一度、自分にはどのような取り組み方が最適

な学習方法なのかを、自分自身で
考えてみてください。

「毎日解く」というアドバイスは、
具体的な助言が難しいからではな
く、これが本当に重要だからこそ
の言葉でした。聞き飽きた言葉か
もしれませんが、本当に大切なこと
だということを私の実感とともに繰
返しお伝えします。「毎日解く」と
いう単純なことを実行するには想像
以上に強い意志と忍耐力が必要
です。どこまで自分は根気強く続
けられるか挑戦するような気持ち
で取り掛かり、毎日続けることを習
慣にすると継続しやすいです。(私

は5年の春から自習用ノートに番号をふってノート消費量を可視化しました。量が重要な訳ではないですがやる気付けにはピッタリでした)

自分のことを深く理解することは、誰のものでもない自分だけの力を身に付けることに繋がります。そして「毎日積み重ねた」という自負は最大の自信になります。

皆さんが自らを信じ、希望した進路を実現することを応援しています。

非凡な努力は報われる。

正当な努力は裏切らない。